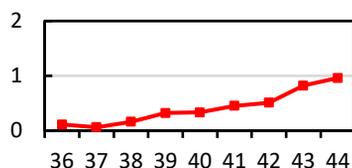


● インフルエンザ (定点報告疾患)

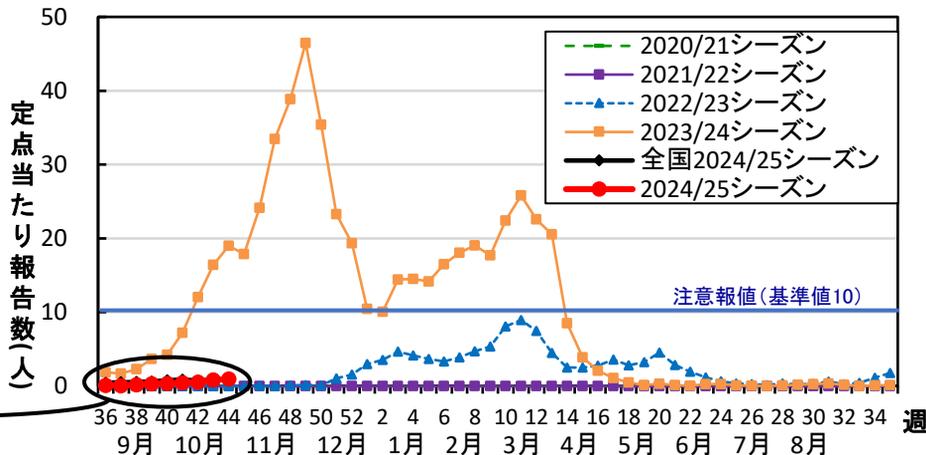
- ◆ 2024年第44週 (10月28日～11月3日) の定点からの報告数は82人 (定点当たり0.96人) でした。
【第43週 (10月21日～27日) : 70人 (定点当たり0.82人)】
- ◆ 定点医療機関の迅速検査結果は、A型が多くを占めています。

インフルエンザ検出状況
2024/25シーズン

型	検出数
AH1pdm09	1
AH3	0
B	0



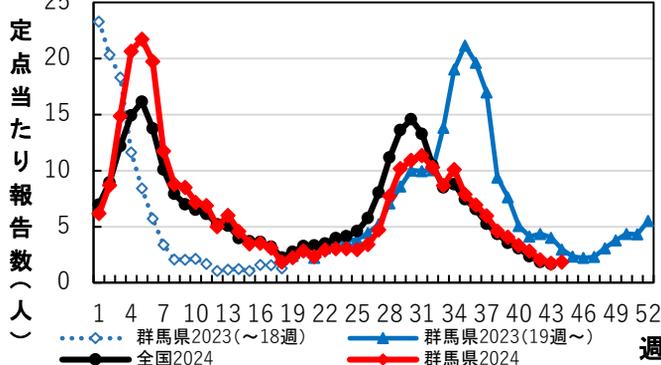
インフルエンザ患者報告数推移



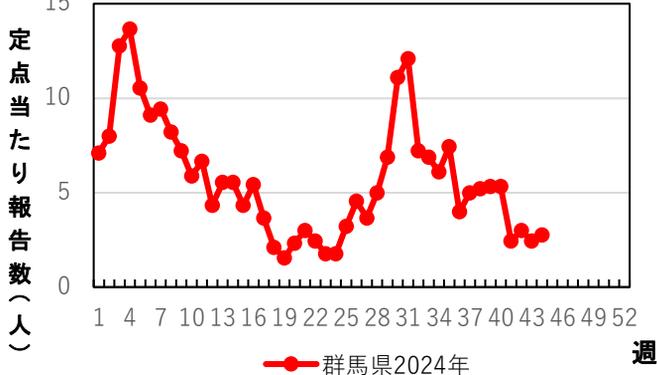
● 新型コロナウイルス感染症 (定点報告疾患)

- ◆ 2024年第44週の定点からの報告数は157人 (定点当たり1.85人) でした。
【第43週 : 149人 (定点当たり1.75人)】
- ◆ 年齢群別で10歳代が23人 (14.6%) と最も多く、次いで50歳代が22人 (14.0%) でした。
- ◆ 2024年第44週の基幹定点からの入院患者報告数は25人 (定点当たり2.78人) でした。
【第43週 : 22人 (定点当たり2.44人)】

新型コロナウイルス感染症患者報告数推移



新型コロナウイルス感染症入院患者報告数推移



※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した
定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数
(令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ) から作図

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.55)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2024年第39週(9月23日~29日)まで)

県内では、オミクロン株が2021年第50週(12月13日~19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日~9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

2022年第2週(1月10日~16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。第9週(2月28日~3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日~26日)以降、新たにBA.5が主流となりました。

2023年15週(4月10日から16日)以降は、XBBが目立って検出されるようになり、主流となっていると考えられます。

2024年は、JN.1(BA.2.86系統)や、その子孫株の1つであるKP.3が検出されています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となりましたが、引き続き医療機関での検体収集の協力により、ゲノム解析による流行株の把握が重要と思われます。

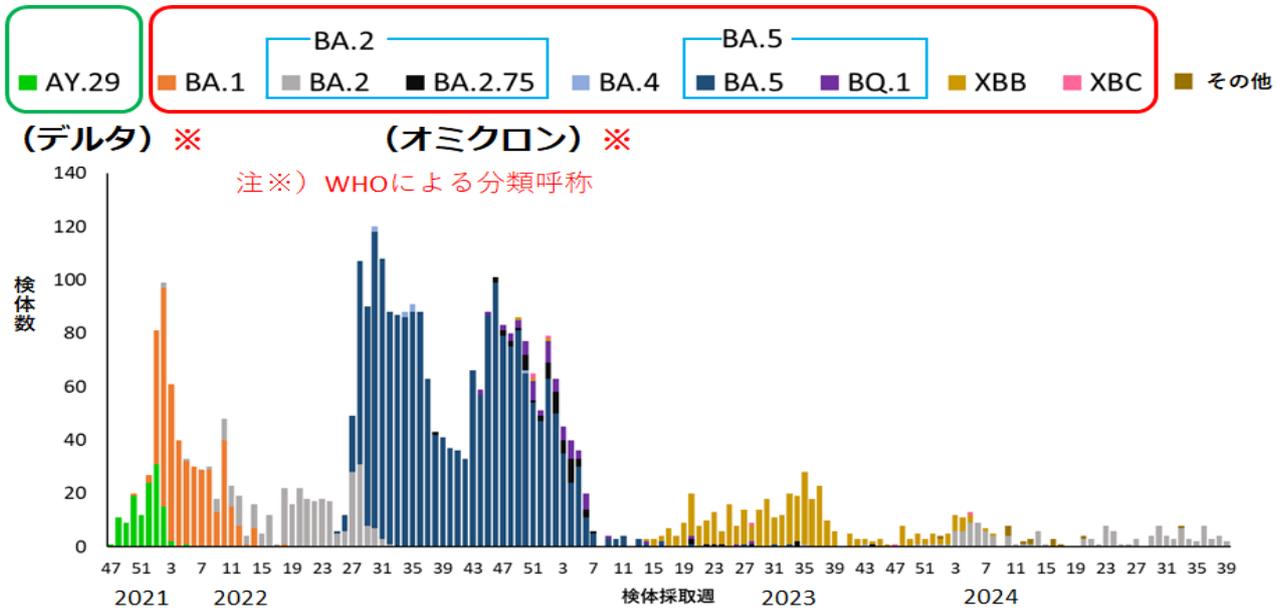


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

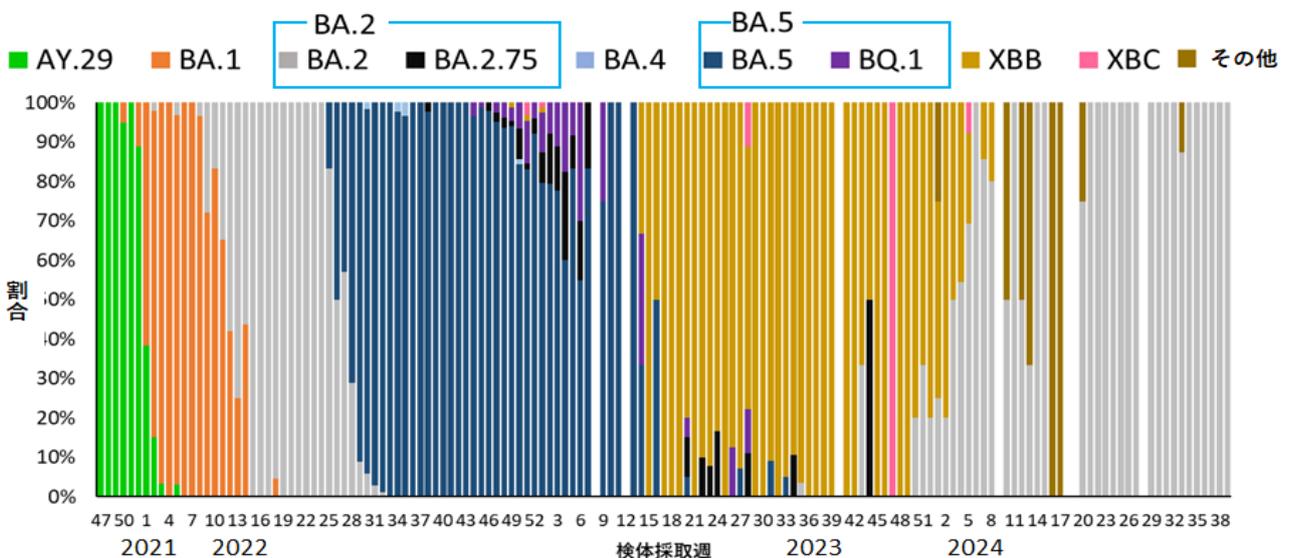


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合)【群馬県衛生環境研究所実施分】